



縄手下遺跡（旧石器時代）



鴨巣Ⅰ遺跡（平安時代）

## 能代周辺の秋田県埋蔵文化財センター発掘年表

(昭和55年：杉沢台)  
 昭和56年：腹鞆の沢  
 昭和57年：蟻ノ沢、**真壁地**、高石野(琴丘町)  
 昭和58年：**此掛沢Ⅱ**、上の山Ⅱ、  
 土井(八森町)、家ノ上(八竜町)  
 昭和59年：家ノ上(八竜町)  
 昭和60年：上の山Ⅱ  
 昭和61年：**寒川Ⅰ・Ⅱ**  
 昭和62年：十二林、蟹子沢、石丁、福田  
 昭和63年：竜毛沢館(二ツ井町)  
 平成元年：**萱刈沢Ⅱ(八竜町)**  
 平成2年：**鴨子台(八竜町)**、八幡台(八竜町)  
 平成3年：萱刈沢Ⅰ(八竜町)  
 平成4年：館の上館(八竜町)  
 平成5年：**館の上(八竜町)**  
 平成6年：館の上(八竜町)、家の下(琴丘町)、  
 中の沢(琴丘町)、泉沢中台(琴丘町)  
 平成7年：湯ノ沢岱(峰浜村)  
 扇田谷地(八竜町)、泉沢中台(琴丘町)  
 平成8年：扇田谷地(八竜町)

平成10年：館の上(八竜町)、盤若台(琴丘町)・  
 狐森(琴丘町)・兵ヶ沢(琴丘町)・  
 堂の下(琴丘町)  
 平成11年：盤若台(琴丘町)、金仏(琴丘町)、  
**狐森(琴丘町)**、堂の下(琴丘町)  
 平成12年：**和田Ⅲ(山本町)**、東飛塚(山本町)、  
 古館(山本町)、狐森(琴丘町)、  
 金仏(琴丘町)、盤若台(琴丘町)、  
 堂の下(琴丘町)、小林(琴丘町)  
 平成13年：塞ノ神、東飛塚(山本町)  
 平成14年：柏子所Ⅱ、上ノ山Ⅱ、ムサ岱  
 平成15年：樋口、**縄手下**、鴨巣館、**鴨巣Ⅰ**  
 上ノ山Ⅱ  
 平成16年：**芹川館(二ツ井町)**  
**烏野上岱(二ツ井町)**、鴨巣Ⅰ・Ⅱ  
 平成18年：鹿渡渉Ⅱ(三種町)  
 平成21年：前谷地  
 令和元年：**茱萸ノ木**、烏野上岱  
 令和2年：茱萸ノ木、烏野上岱  
 令和3年：茱萸ノ木、竜毛沢Ⅳ・Ⅴ

※・( )書きのない遺跡は能代市所在  
 ・昭和56～平成16年は、旧町村名で表記  
 ・杉沢台遺跡はあきた埋文設立以前  
 ・太字が今回展示する遺跡

秋田県埋蔵文化財センター(あきた埋文)は、秋田県内で行われる国道、県道、ダム建設などの公共事業に伴う遺跡の発掘調査を行う公的機関です。

昭和56年の設立以来、あきた埋文が行った発掘調査は約500件に上ります。

調査で出土した土器や石器などの遺物は、コンテナ(タテ60cm×ヨコ40cm×深さ10cm)で保管・收藏されています。その数は2万箱を超え、大仙市のあきた埋文と男鹿市の男鹿収蔵庫に收藏されています。能代山本地区では、国営開拓事業などの大規模開発が比較的早い時期に着手され、あきた埋文設立当初から発掘調査が行われてきました。現在その出土遺物の大半は、あきた埋文に收藏されています。

本展では、能代周辺の発掘調査で出土した旧石器～平安時代の遺物や発掘調査のようすを伝える写真パネルを展示しておりますので、これを機に能代周辺の埋蔵文化財に親しんでいただければと存じます。

### 6月19日講演 播摩 芳紀 先生(能代市教育委員会 文化財保護室 主席主査) 略歴

秋田県能代市生まれ

平成7年 筑波大学第一学群人文学類卒業

平成13年 能代市教育委員会採用。当時の社会教育課で文化財保護行政に従事。二ツ井町と合併後は市史編さん室、市立図書館などを経て平成24年より再び文化財保護行政に携わる。平成28年より檜山城跡発掘調査担当。令和2年より能代市教育委員会教育部生涯学習・スポーツ振興課文化財保護室主席主査。

### 今回講演『能代周辺の埋蔵文化財～旧石器時代から中世～』について

秋田県埋蔵文化財センターの出張展示に合わせて、能代市内の先史時代から中世までの歴史を概観します。報告する機会がなかった昨年度の檜山城跡の調査についてもご紹介いたします。